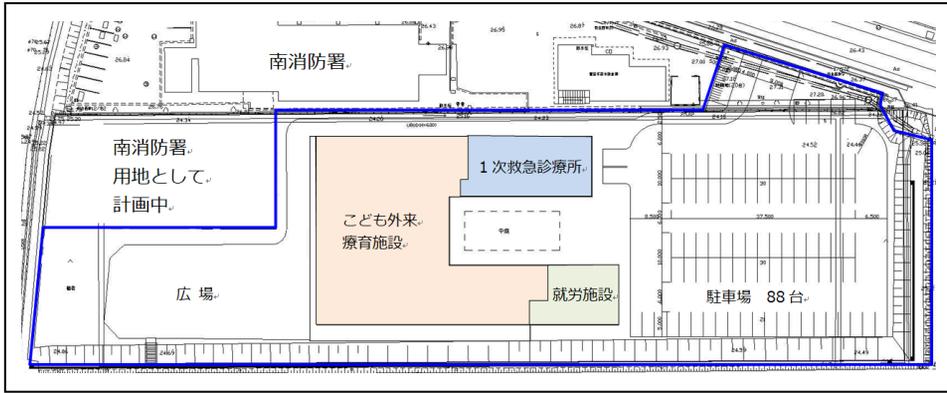


豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三三・四七・七二
毎週一回発行

新1次救急診療所・障がい者就労施設・こども外来療育施設 平面図



整備スケジュール (予定)

28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	基本設計・実施設計 H28.12~H30.3			
		造成工事 30.1~31.3		
			建築工事 H31.4~H32.9	
				開院・開設

新1次救急診療所 障がい者就労施設 建設計画はどこまで進んでいるの？

現在、上郷地区に豊田市立新1次救急診療所の建設計画が進んでいます。市議会への情報では、その目的として、「救命救急

センターに多くの軽症患者が受診しており、重篤患者の受診機会を奪いかねないことから軽症患者を分散させる仕組み

として、新たな1次救急診療所を整備する。整備においては、地域で共生する社会を実現するため、障がい者の日中活動場所として喫茶等を併設し、(中略)こどもの外来療育施設『あおぞらおひさま』の移転に対応することに加え、市内南部に居住し、外来療育を必要としている親子の移動負担軽減のため、こどもの外来療育施設も合わせて整備を行う。」としています。

概要として、1次救急診療所の延床面積は約300㎡、内科・小児科で、診療日は日曜、祝日、お盆、年末年始。障がい者の就労スペースは延床面積、約200㎡、営業は平日、土曜日。こどもの外来療育施設は延床面積は約1300㎡+遊具等を配置した屋外スペースを配置、開設日は平日。あわせて、施設の図面・整備スケジュールが示されました。造成工事については、29年度中の着工予定としています。

南部地域では、救急患者を受け入れる市内の医療施設が不足していることから、市民から救急病院の設置が要望されていました。今回、建設される施設の機能の充実とともに、早い段階での開院が期待されています。

市の事業・事務の見直し!! 市民に身近な制度が次々カットか?!

豊田市の「事業・事務の最適化」の取り組みについて、市議会への説明がおこなわれました。「第8次豊田市総合計画に掲げた重点施策や基本施策を推進するため、急激に変化する社会経済情勢や地方税制制度の変更などの状況下でも、持続的に発展し続けるために『事業・事務の最適化』に取り組む。」「見直しを行うに当たっては、1月から関係団体(区長会、自治区、高齢者クラブ、保護者・学校、市PTA連絡協議会等)への説明をおこない、2月中旬、E

モニターによるパブリックコメントの意見等を踏まえて、見直しを進めていく。」としています。

平成33年度までに99事業が対象となっていますが、事業の中には、子どもに関する事業では、小規模こども園の再編(統廃合)、北部給食センターをPFI事業で改築整備することに伴う、藤岡給食センターの廃止、給食材料費の公費負担から保護者負担への変更、福祉に関する事業では、敬老金支給事業の見直し、生活に関する事業では、毘森公園プールの改修または廃止、地域バスの運行見直し等があげられています。

市民生活に身近な事業で、カットや変更されることとなれば、市民への大きな影響となります。



毘森公園プール



安倍首相はなぜノーベル平和賞の代表に 会わないのか！「被爆者国際署名」1時間で70筆

核兵器禁止条約の採択実現に貢献してノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)のベアトリス・フィン事務局長が訪日中に安倍首相に面会を要請していましたが拒否されました。

17日に外遊から帰国した安倍首相は18日まで日本に滞在するフィン氏と会えるはずでした。被爆者の運動が国際的にも評価され、ノーベル

平和賞を受賞した事を、日本の首相であれば心から喜ばなければいけないはずですが。首相は、大事な相手になぜ会わないのでしょうか。

21日、豊田地域原水協が核兵器廃絶を求める国際署名を取り組みました。ノーベル平和賞への歓迎、安倍首相の態度はおかしいとの声が沢山聞かれました。1時間で70筆が寄せられました。



賃貸アパートの敷金返還 少額訴訟で解決 (本多レポ)

私は昨年6月に名古屋市天白区内から豊田市内に引っ越してきました。

5年ほど住んでいたアパートを退居する時に、大家さんから床のクッションフロアが変色している、と全面貼り換えの費用約6万円を請求され、壁紙の貼り換えや掃除代などを含めると計20万円ほどの請求でした。

私は、国土交通省の指導方針も示して、納得できないと

抗議しましたが、請求額5万円ほど値引きで平行線に。

インターネットで調べたり、豊田消費生活センターや、日本共産党の無料法律相談にもお世話になり、少額訴訟を豊田簡易裁判所で8月に起こしました。訴状は自分で書きました。

その結果、退去時の請求額は計5万円ほどが妥当である、との私の主張が全て認められた判決が出され、敷金の差額が戻ってきました。(本多のぶひろ)

「懐が痛む温泉行」 バス代半額など代替案を

投稿

先週の平日、友人に誘われて稲武の「どんぐりの湯」に行きました。

寒空で凍結の心配もあったので、おいでんバスで行くことにしました。片道1時間半で、友人とのんびり、湯につきり、将棋を6局しました。費用を計算してみると、豊田市から稲武往復2400

円、入浴料600円、昼食650円、市駅まで440円で、計4090と痛い出費となりました。

運転免許証を返上すればバスが半額になるとか、「豊田市民山の家」も無くなるなら、何か代替案を考えて欲しいものです。

(年金生活者Iさん)

とき: 1月28日(日)

午後3時~5時

ところ: 上郷コミュニティセンター



12月議会報告、地域での市民運動の取り組みなど、お話しします。

ぜひ、お越しください。

主催: 日本共産党上郷後援会